

議論しました。

決算特別委員会については、決算審査の基本的な考え方を確認し、他市議会の状況も勘案しながら、委員会のあり方について議論し、決算審査の内容がより充実したものになるよう様々な意見がありました。

議会広報特別委員会については、常任委員会とすることに決定しました。今後、他の委員会とのバランスなども考慮しながら、さらに検討を深めていきます。

決算特別委員会

今定例会の審議結果

審査の結果、認定第1号「令和3年度勝山市歳入歳出決算の認定について」を認定、認定第2号「令和3年度勝山市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について」を可決並びに認定としました。

認定第1号の審査において、委員から出された主な意見を報告します。

◆市民と行政の協働について

○総合計画など各種計画策定には、情報の公開および市民の意見集約が大切であるが、その伝達が十分とは言えない状況がある。インターネットを活用した方法なども取り組まれているが、行政協力員の活動をさら

に支援するなど、より多くの市民と情報伝達がスムーズにできる体制を構築することに努めてほしい。

◆若者の活躍、世代間交流について

○結婚相談事業において、民間の企業等と連携して、若者の出会いの増加、世代間の認識の違いを相互理解できるように事業の展開を図ってほしい。
○勝高生が勝山産野菜を使ったキッチンレシピを発案し、市内業者によって商品化が実現された事業や、勝山農業男子・農業女子応援プロジェクトの取り組み等、若者の参加があった事業内容に期待が持てた。今後も、後継者である若者世代のやる気を高める事業展開を図ってほしい。

◆職員の処遇改善について

○新型コロナウイルス感染症予防の観点からも、各種事業を行う上で職員の負担が大きくなっており、職員のメンタルヘルス対策が重要である。職員のストレス解消の場の提供や病後の職員のアフターフォローの充実、効果検証などメンタルヘルス対策の充実を図ってほしい。
○消防署員の山岳救助の装備については高額であるため、署員が共有して使用しているが、衛生面の観点からも装備の充足を図ってほしい。

一般質問

議：議員／理：理事者

○国民健康保険税について ○勝山ニューホテルについて

その他の質問

- ・プロポーザル方式での契約について
- ・給食費の無償化について
- ・中学校再編について

久保幸治
議員
日本共産党



議 当市で国民健康保険被保険者が新型コロナウイルス感染症に感染し、または発熱等の症状により会社等を休み、給与等の支払いを受けられない場合の傷病手当金の支給について、市のホームページや広報以外に市民への周知にはどのような方法を取っているのか。

また、長年のデフレやコロナ、物価高騰などで国民の6人に1人が貧困状態に陥っており、子どもの貧困率は上昇している。このような全国状況も踏まえ、国の支援とともに市の補助で子どもの均等割をなくした場合、対象となる子どもの人数とその経費はどのくらいになるのか。

理 市民への周知方法については、市ホームページのほか、県作成の生活支援制度パンフレット等を利用し、窓口で配布している。

11月末時点における今年度末までの18歳以下の国保被保険者数は283人で、無償化した場合、国や県からの補助分を差し引き、約623万円の経費が必要と試算している。

議 勝山ニューホテルは、市民の利用できる公共施設ということから、市民の税金を投入し続けてきた。今後の公共施設のあり方や運用に生かすためにも、公共施設として長年所有してきたホテルに関する総括は必要と感じている。ホテルにはこれまで（売却時まで）総額でいくらの市税が投入されたのか。

売却処分に反対ではないが、市が政策として業務を遂行する上で、議会には売却決定の事後報告だけで済ますことなどが常態化すれば、議会、議員は議論や提案、行政をチエックする機会がなくなるのではと危惧する。

理 23年間でホテルの維持管理や大規模修繕に係る経費、人件費等を含め約15億7000万円を支出した。

ホテルの売却については、民間事業者との交渉であり、情報統制の観点から慎重に協議を進めてきた。今年3月定例会では、地方自治法の規定に従い、財産の処分について議会の承認をいただくため、建設産業委員会で譲渡に至った経緯や譲渡の相手方、譲渡のスケジュール等について詳細な説明を行った。